

会 員 募 集

会員を募集しています。わたしたちの活動をご理解していただき、ご協力できるかた、ごいっしょにアジアでのボランティアを始めませんか。

(1) 入会金	正会員	1万円	団体正会員	3万円
	活動会員	なし	団体活動会員	3万円
	賛助会員	なし	団体賛助会員	なし
(2) 年会費	正会員	1万円	団体正会員	3万円
	活動会員	5千円	団体活動会員	3万円
	賛助会員	1口5千円	団体賛助会員	1口5千円

振り込み先

特定非営利活動法人T・M良薬センター
群馬銀行本店 普通口座 2134150
郵便局 00160-5-591781

特定非営利活動法人T・M良薬センター事務局
〒371-0852
群馬県前橋市総社町総社1024
(Tel&Fax) 027-254-2325
(E-mail) office@tmrc.jp
(HP) www.tmrc.jp



ロンジークラブ

4



T・M良薬センター ニュースレター

目次

ネパールプロジェクト
ミャンマープロジェクト
ベトナムプロジェクト

ニュースレター第4号

平成16年6月5日

T・M良薬センター事務局

Tel・Fax : 027-254-2325

E-mail : office@tmrc.jp

ネパールプロジェクト

ネパールの首都カトマンズのすぐ南に位置する、閑静な古都パタンに事務所を置いたTMRCは、リピタブグティと呼ばれる文字上達塾を支援し、古来より伝わる伝統文字の存続活動に協力しています。



政府の方針により日常使われなくなった文字は、少しずつ人々の記憶からなくなっていくのでした。そこで、昔から伝わる文字と文化を愛する有志が集まり、未来に伝えるために「リピタブグティ」を立ち上げました。その活動はほぼボランティアで、手作りの広告を見て興味を持つ人々がある程度集まると事務所に講義要請の連絡が来て、講師を派遣する

というものです。

リピタブグティの講師達。皆ボランティアで教えています。

リピタブグティ授業風景



授業が開かれる場所は様々で、学校や図書館などの一部を借りることもあれば「青空教室」の時もあるそうです。現在このリピタブグティでは3種類の文字を教えていて、一種類の文字に約3ヶ月間のコースで教室が開かれます。1クラス約10人~15人で編成され、子供から大人まで習っています。

講師の方々は皆副業なので、夜開かれる教室に出られる方が率先して奉仕しています。

子供の頃から慣れ親しんできた言葉が無くなるなんて考えられないと、未来永劫伝えていくために皆さん一生懸命授業を続けています。

ラン寺跡



ハロン地区はベトナム戦争で寺院が破壊されて現在一カ寺も立っていません。その中でベトナム王の建立した由緒ある「ラン寺」が惜しまれていたのです。今では柱の礎石のみで荒れ果てていました。

この地を訪れた TMRC 一行は、日本からの援助でこの寺を再建復興することが両国の仏教交流の大きな成果になることを

確信したのであります。

TMRCベトナム事務所OPEN!

2004年4月から首都ハノイにある日本語学校(JLHC)内にTMRC事務所が開設されました。

TMRC HANOI Office

Addr: 6B2+3, Dam Trau, Hai Ba Trung,
HANOI VIETNAM
Tel: (84 4)9840 999 (JLHCと共用)



フォンさん

初めまして。ゲン・フォンと申します。ベトナムから来ました。現在横浜国立大学に留学中です。また「財団法人 日本国際協力センター」の研修監理員として、毎日飛び回っています。ベトナムでは日本語学校を運営しています。この度TMRCベトナム事務所に任命されました。これからは皆様と一緒に日本とベトナムの仏教交流の橋渡しとなるよう

一生懸命頑張ります!

どうぞヨロシクお願いいたします。

ベトナムプロジェクト

1970年ベトナムは戦火の中でした。北ベトナムと、米国が介入した南ベトナムとの戦争は周辺諸国をも巻き込んだ大きなものでした。

1975年多大な被害を出しながらもベトナム国民自らの力で米軍を追い出し国はめでたく統一されました。



しかし、戦後30年経った現在でもその傷跡は深く残っているのです。激しい北爆によって消失した寺院は数知れず、首都ハノイ近郊はまだしも、遠方の寺院はいまだ復興の兆しが見えません。ベトナム王国は仏教国です。人々の心のより所である仏教寺院が見るも無惨な姿のまま放置されている事実に残念で心が痛みます。

今、TMRCはベトナム仏教会より正式に依頼を受け、**仏跡寺**（ハノイ中心部より車で30分のベトナム仏教発祥の寺院）と連携し、ベトナム戦争で消失した寺院の再建事業に取り組んでいます。そして、この事業がベトナムと日本の仏教文化交流に役立つような国際的価値のあるものにしようと言う話し合いが持たれています。

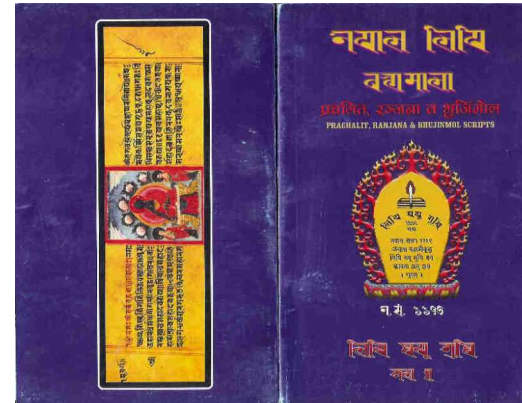


ベトナム仏教会本部で会議

現在仏跡寺境内に日越仏教交流センターを建設中。

2003年8月、2004年4月と二度にわたって調査を重ねたTMRCは、ハロン地区（世界遺産ハロン湾）にある、荒れ果てた「ラン寺」を仏跡寺との共同事業により復興することを決めました。

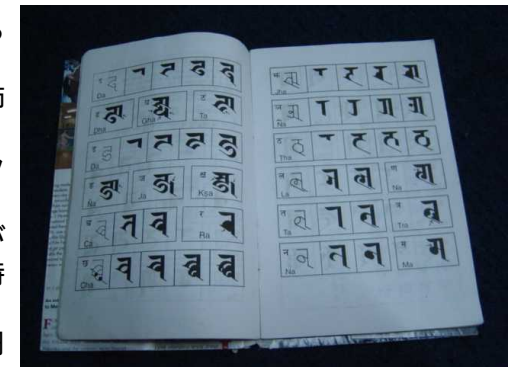
講義の教材も講師達の手作りで、受講者に安価で販売していましたが経済的な問題で発行が止まっていた。そんな中、TMRCは日本で寄付を呼びかけ教科書印刷代として10万円を送り、果たして無事第二弾教科書発行となったのです。



2004年4月
TMRCの寄付により千冊発行されたリピタプグティ・パタンの教科書。
プラチャリット文字
ランジャナ文字
ブジモル文字の3種類の伝統文字が載っている。

文字フォント作成スポンサー大募集

リピタプグティで教えている文字にはフォントが無いので、教材や広告、新聞など全て講師達が手書きで作っています。フォントがあればコンピュータで打ち込むことが出来るので、時間と手間が省けて活動の幅が大きく広がります。しかし、特殊な文字であり、数も多いので、作成するのに費用が約40万円かかるのだということです。講師達からこのような依頼を受けて現在資金を集めています。



TMRCネパール訪問決定！ 平成16年7月7日～7月9日

- リピタプグティ訪問
- 教科書の使われ方の調査
- フォントの調査
- これからの活動に関する調査

タウケル寺 表敬訪問

ミャンマープロジェクト

TMRCミャンマー事務所

No.261,b(F), Bo Myat Tun Street,
Bo Ta Htaung Township, Yangon. MYANMAR.

Tel&Fax: -95 -1 -299850

E-mail:psl@mptmail.net.mm

事務所長:アウン・ウィン・タン氏



ただ一方的、一時的に物資や資金を援助するのではなく、現地の人々の声を聞き、本当に必要とされる半永久的な支援、援助を目指しているTMRCの一つの結論。障害者リハビリセンター。

そのセンターは、日本から整体師を派遣し患者を治療する一方で、現地の障害者に整体のいろはを指導、講習していき社会福祉省公認の資格を発行すると言う整体師養成プログラムが備わった援助です。

センター設立へ向け社会福祉省と折衝中のTMRCは、ミャンマー国内において自由に事業を進めることが出来る権利、「MOU」を締結するため同省からの条件を組み込んだ事業計画書を提出しました。その条件とは社会福祉省管轄の盲学校生徒を対象とした整体師養成プログラムでな

くてはならないと言うことでありました。ただし治療に関しては限定がありません。そして盲学校の一部をTMRCのセンターとして提供していただけることになったのです。私たちはそこを研究所として活用し、そこからミャンマープロジェクトを展開していくことを決めたのです。



ギターを弾く盲学校の生徒

2004年7月、TMRCはミャンマー訪問に踏み切りました。

ミャンマー訪問団

(^_^)/~

期間 平成16年7月4日から7月6日

メンバー

- ・田代副理事長
- ・村野宣祥会員
- ・井出存亮会員
- ・作田光照会員
- ・小川事務局長
- ・小野事務次長

+ 小川光星 整体師

千葉県君津市 TDM サロン院長
0439-55-5155

目的

1 社会福祉省とセンターに関する会議

- ・設立の時期 ・事業予算 ・整体を習う者に関して
- ・プログラム進行計画 ・整体実演など

2 現地の環境、状況の調査

- ・提供される場所の広さ ・立地条件 ・内装 ・道具など

3 講師の生活に関する調査

- ・住居 ・専属パートナーの確保（通訳、運転手、ガイド、世話役）
- ・生活費に関して ・人件費に関して

HOT NEWS

2004年5月始め、TMRCを窓口として、群馬県藤岡南ロータリークラブよりミャンマーの子供達へサッカーボール250個が贈られました。また、今回のTMRCミャンマー訪問団に同ロータリークラブの代表が同行し、ミャンマー国のスポーツ大臣と会見することになりました。将来的にはミャンマーで青少年サッカー大会を開き、ミャンマーと日本との国際大会も展望に入っているようです。